

ラムザ自治会 ロハス倶楽部

# 住環境新聞

第一号

2005年9月29日発行  
ラムザ自治会  
ロハス倶楽部  
芝浦工業大学三浦研究室  
小曾戸 毅  
松本 龍憲

【新聞の発行にあたって】  
このラムザ自治会住環境新聞は、住民の皆さまに住環境に対する興味を持っていただきたい、また住環境実測調査などの実際の活動に参加していただきたいの思いを込めて発行しております。この新聞を読んでも少しでも関心をお持ちいただければ幸いです。

ロハスの語源はローハスからきており、「健康・地球環境保護意識の高いライフスタイル」という意味です。この考えのもと、住環境プロジェクト推進のため、ラムザ自治会の中にロハス倶楽部を発足させました。

## はじめまして！

### 芝浦工業大学

### 三浦研究室です



暮らしている環境に疑問をもったことはありませんか。「夜道が暗い」「交通量が多くて空気が汚い気がする」「電車の音がうるさい」「何だか風通しが悪い気がする」「自治会・町会で環境問題に取り組んでみたい」など、今あちこちの町から様々な声が聞こえてきます。

私たち三浦研究室では、こうした疑問をもつ住民の皆さまと共に、音、熱、光、空気などについて着実な実測調査やアンケート調査を行い、安全の基準、生活に必要な量、住民の考えなどの把握・研究に努めています。

“住快環プロジェクト”は、この研究姿勢に基づき研究室の適切なサポートのもと、「住民が住民の手で環境を創っていく参加型社会」の一端を担うプロジェクトです。住民の皆さまが主体となって住環境の改善活動に向き合い、住み良い町づくりにつなげるために発足させました。

ラムザ自治会と三浦研究室による本プロジェクトにより、見えない町の実態が明らかになります。皆さまの積極的な参加をお待ちしております。

## ラムザ自治会長から一言

武蔵浦和駅周辺地区の再開発は街区ごとの事業として行われています。再開発事業者は地区住民などの利害関係者との関係をこれまでに以上に大切に、具体的かつ実効性のある配慮行動をとることで社会的責任を果たす必要があると思います。しかし、ここでの現実には街区ごとの採算性が重視されることにより、地域環境や地区住民への配慮が足りないと感じている方が多いようです。地区住民の不安を煽ることなく芝浦工業大学三浦研究室のご協力の下に自治会が住環境調査を行い、現状をそのまま地区住民へ報告したいと考えています。多くの方の住快環プロジェクトへの参加をお待ちしています。

## 見えない町の実態が見えてくる 住快環プロジェクト

2138通のプロジェクト概要書を東京都、埼玉県  
の自治会・町会の会長様に送付、同時に主婦向けフリーペーパー「ショッパー」にて募集開始。  
62の自治会・町会から資料請求のお問い合わせ  
19の自治会・町会からご応募をいただく。  
ご応募のあった自治会・町会を訪問し、ラムザ自治会を含む4地区に決定。  
9月10日の第一回話し合いを経て、プロジェクト開始。  
ラムザ自治会地区の住環境の実態が明らかになる！

## これまでの経緯と プロジェクトの進め方

今年度も三浦研究室では、昨年まで行ってきた「住快環プロジェクト」を実施するために、自治会・町会の募集を行いました。このプロジェクトは「自治会・町会が主体となって実態調査を進める」ことがテーマとなっています。三浦研究室はその活動を進める上で、着実なサポートを行っています。

今回、ラムザ自治会の皆さまとお付き合いするようになった経緯は上記の通りです。ラムザ自治会の他にプロジェクトを実施する地区は、草加市「原町町会」三郷市「鷹野東町会」戸田市「戸田団地自治会」の3つで、今年度は合わせて4地区の自治会・町会と共同実測調査活動をする事となりました。

このプロジェクトの主役は皆さまです。これから行われる話し合いや実測活動を皆さまのアイデアで実りあるものにしていきましょう！

皆さまはじめまして！三浦研究室の松本龍憲(マツモト タツノリ)と申します。今回サポート役として、ラムザ自治会の皆さまと共同実測



皆さまはじめまして！三浦研究室の小曾戸毅(オソド ツヨシ)と申します。今回、ラムザ自治会の皆さまと環境調査を行うことになりました。皆さまはこれまでにも参加できる活動にしていけたらと思っています。皆さまが動きやすいようしっかりとサポートしていきますので、よろしくお願いたします。



た。多くの住民の方と調査できることを楽しみにしています。皆さまぜひ足を運んでみてください！普段何気なく暮らしている環境からいろいろな発見があると思いますよ。



第一回話し合いの写真



# 住快環プロジェクト 実測の種類

## 騒音の実測



騒音を実測している様子

道路を走る車や、電車、工場などから発生する音の大きさを実測調査します。実測には騒音計を使用します。

## 照度の実測



照度を実測している様子

地区内の道路にある街灯直下の明るさ、個数を調査します。人が行き来するような道路を実測調査します。実測には照度計を使用します。

## 交通量の実測



交通量を実測している様子

道路を走る車の台数や車の進行方向を調査します。特に交通量が多いと感じる道路や、交差点などで調査を行います。実測にはカウンタを使用します。

## 空気の汚れの実測



実測に使用するカプセル

道路を走る車や二輪車などが大気にどれほど影響を与えているかを実測調査します。実測する対象は二酸化窒素です。実測には小型のカプセルを使用します。カプセルは住民の皆さまと学生が共同で作成します。

住快環プロジェクトにおける環境調査項目には、これまで左記のような実績があります。住民の皆さまのご要望に応じて調査項目を決定します。



芝浦工業大学教授 三浦 昌生

ラムザ自治会の皆さま、大変ご無沙汰いたしました。一昨年、友延さんをはじめとする方々には建築学会のシンポジウムにご参加いただき誠にありがとうございました。研究室では引き続き、商業地域のマンション住民の意識調査を続けております。

さて、この度は「住快環プロジェクト」にご応募いただきありがとうございます。多数の応募の中から貴自治会を含め四つの自治会を選定させていただきました。住環境の実態を知りそのデータを基に改善策を話し合う活動にラムザ自治会の皆さまがチームワークを生かし主体的に取り組んでいただけることを願っております。研究室の小曾戸、松本がサポートいたします。

## 実際に活動してみませんか？

今回住快環プロジェクトを行っていく上で、話し合い・実測調査・住環境新聞の作成など、様々な活動を行う予定です。「実際に話し合ってみたい」「実測調査に興味がある」「新聞を作ってみたい」など、少しでも興味がある方はぜひ下記の連絡先までお気軽にご連絡ください。

## アンケートにご回答ください

皆さまはご自分のお住まいをどうお考えですか。

住民の皆さまの住環境に対する意識調査を兼ねて、本プロジェクトでは10月、12月と2回アンケート調査を実施します。

ご家族の方であればどなたでもかまいませんので、ありのままにお答えいただけたら幸いです。

お答えいただきましたアンケート用紙は10月1日～10日までの間に、ご自宅に直接回収に参ります。また、期間内に自治会ポストへ投函していただいても構いません。

ご回答いただきましたアンケートは、三浦研究室において集計いたします。

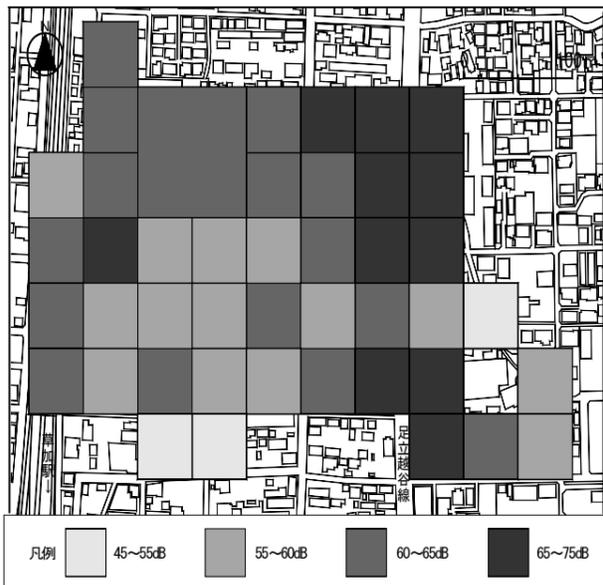
また、調査の結果はすべて統計的に扱われ、個人のお名前が公表されることは決してございません。

ご回答よろしくお願ひ申し上げます。

※アンケートの集計結果から、ラムザ自治会にて実施する実測項目を今後話し合いながら決定していきます。

## 住環境マップとは

住環境マップとは、騒音、空気の汚れといった地区の様々な住環境を、地図上にわかりやすく表現したものです。地区の住環境にそれなりの関心があっても、それを実際に調べたり、その結果をわかりやすく表現したりすることは容易ではありません。しかし、地区の住環境をわかりやすく表現した住環境マップがあれば、地区の住環境をより具体的に捉えることができ、地区をより良くする活動に役立ちます。



草加市四丁目町内会における騒音住環境マップ

## 年間スケジュール(予定)

10月	・住環境新聞発行 ・第一回アンケート調査 ・環境調査項目を決定し、実測調査開始。	新聞は月に一回配布する予定です。 地区の住環境マップの作成など。
12月	・二酸化窒素濃度調査 ・第二回アンケート調査	全世帯にカプセルを配布し、調査を行う予定です。
1月	・懇談会	これまでの調査結果の報告と実測データを生かしたこれからの方向性について話し合います。

### 《お問い合わせ先》

ラムザ自治会 ロハス倶楽部

Email : lohas@lamza.org

URL : http://www.lamza.org/

芝浦工業大学 三浦研究室

TEL / FAX : 048 (687) 5832

Email : r02054@sic.shibaura-it.ac.jp(松本)

URL : http://www.mmlab.se.shibaura-it.ac.jp/

担当学生 : 小曾戸 毅 松本 龍憲